

搾乳作業の質を上げる工夫

清拭作業を丁寧に行うための工夫



対尻式の繋ぎ牛舎で2台の搾乳カートを使用した事例

- ・作業者がそれぞれのペースで搾乳ができる
- ・遠く離れた搾乳カートまでタオルなどの資材を取りに行かなくてもいいので省力的
- 楽になった分、清拭作業に専念できる

冬に乾燥して荒れた乳頭

- ・冬季間は、乾燥により乳頭が荒れてしまいます。乳頭が荒れると、乳頭のシワに忍び込んだ汚れをきれいに落とすことができません。
- ・冬季間に保湿効果の高いディッピング剤を使用して、乳頭の荒れを少なくしている事例があります。
- ・牛にとっても「お肌のお手入れ」は必要です

冬の乾燥肌対策に保湿効果の高いディッピング剤を使用する

清拭用タオルを絞る手間を省いて省力化した事例



- ・殺菌剤入りの酪農用洗剤で洗濯した清拭用タオルを洗濯機で半脱水*
 - ・半脱水したタオルをそのまま使用。
- *半脱水：手で絞ると水が滴るが、手で持ってタオルを広げても水が垂れない状態



変更前は清拭用タオルを殺菌剤の入ったお湯に浸して使用。清拭前にタオルを手で絞って使用。

実はそのタオルが菌で汚れているかも！？

洗濯機のごみ取りネットをきれいにしていますか？



洗濯機のごみ取りネットを定期的きれいにしている事例

- ・「洗濯槽の裏側に雑菌のものが・・・」どこかで聞いたことのあるフレーズです。
- ・洗濯槽を除菌する資材が市販されています。乳頭に触れるタオルを洗う洗濯機だからこそ、**定期的な除菌**が必要です。

洗濯機が汚れては、本末転倒です！

タオルが汚れては本末転倒です！

注水すぎ

- ・糞などの大きな汚れを水を注ぎながら洗い流す

完全脱水

- ・タオルを完全脱水する

洗濯槽洗浄

- ・水を使って洗濯槽を洗浄する

通常洗濯

- ・殺菌剤入りの酪農用洗剤を利用して洗濯する

タオルの洗濯方法（参考）

有機物で汚れたタオルを、注水すぎ（又は手による粗洗い）することは、タオルをきれいにする上で極めて大切な作業になります。



洗濯前に注水すぎ

搾乳作業の質を上げる工夫

見えない菌と闘う

写真：十勝農業改良普及センター十勝西部支所



「そんな面倒くさいこと・・・」と怒られそうですが、まずは「リスクを認識する」ことが大切です。

「そんな面倒くさいこと・・・」と怒られそうですが、まずは「リスクを認識する」ことが大切です。

殺菌する

搾乳手袋も万全ではありません。汚れたら殺菌することが大切です

乳頭に触れるものはとくに「清潔」を意識しましょう

やっぱり整理整頓は大切です

酪農の生産現場でも5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)は大切です。これらを実践することは仕事の効率を高め、作業の質が上がります。何より気持ちよく仕事ができます。仕事が煩雑化しないため、農作業事故の防止にもつながります。



ディッパーは毎回洗浄してディッピング剤は毎回交換



ディッパー内のディップ剤からも菌が検出した事例

見える化

- 「見える化」の目的は、農場で働く人たちが目標や問題点を共有し、共通認識のもとで解決のための行動を起こすことです。
- これらを実現するために、「見える化」を実践している農場がたくさんあります。
- 「見える化」することで、作業の質が高まり、生産性に寄与します。

